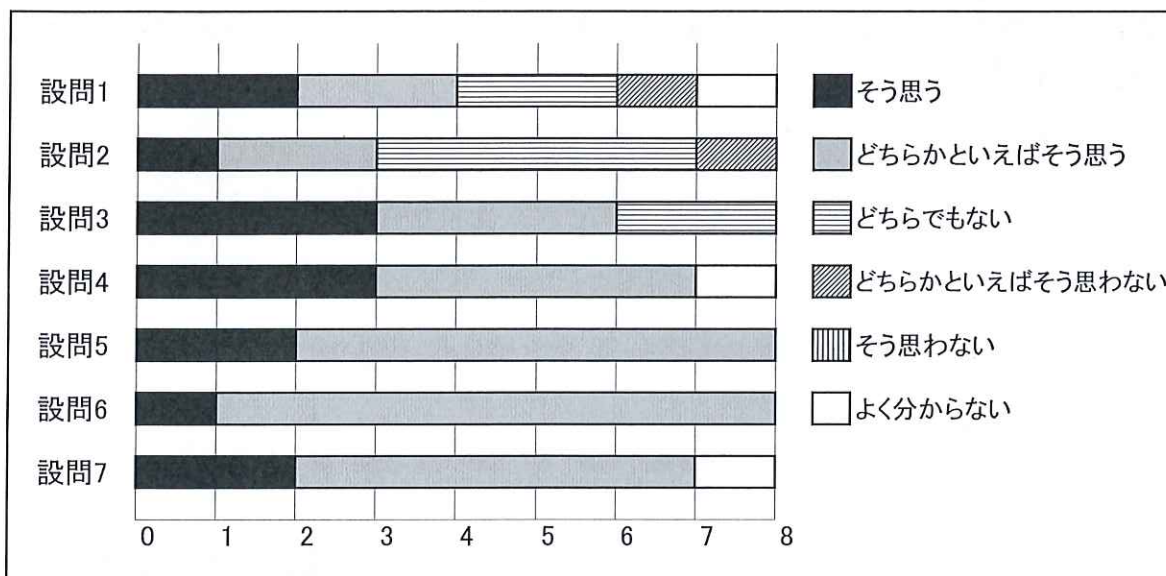


平成29年度 第1回 認知症対応型通所介護運営推進会議録

日 時	平成29年 8月 29日(火) 10:30~12:00	場 所	岩本町ほほえみプラザ 1階多目的ホールA
議 長	高橋 誠 (印)	書 記	野田久美子 (印)
出席者	委 員:●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏		
	●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏		
	事務局:高橋 誠、浅野明日香、金原智子、野田久美子		
議 題	1. 管理者より挨拶		
	2. 事業について(H28年度事業報告、H29年度事業計画)		
	3. 認知症対応型通所介護を取り巻く状況について		
	4. 事例報告		
	5. 質疑および評価		
	6. その他		
会 議 内 容	1. 管理者より挨拶(野田)		
	H28年8月より認知症対応型通所介護、H29年7月より通所介護の管理者となっている。		
	出席者の自己紹介を行う(別紙委員名簿参照)。		
	2. 事業について(H28年度事業報告、H29年度事業計画(別紙資料参照))		
	(1) H28年度は、新規登録者が少なかった反面、廃止者の増加により、延べ利用者数が大幅に減少した。		
	(2) H29年度も、制度に則って、認知症ケアの充実に向けて「原因を探る」取り組みを行う。		
	認知症対応型運営推進会議を活用しながら現状を把握し、地域社会のニーズに応えられるよう取り組む。		
	3. 認知症対応型通所介護を取り巻く状況について		
	全国的に認知症高齢者が増加している一方で、認知デイサービスの利用が減ってきているのは何故かという現状について、意見を伺った。		
	4. 事例報告		
	不衛生な環境の中で自由奔放な生活を送っていたために、足が壊疽を起し切断寸前までになったが根気よくケアを続けて回復。その後も心不全・胃癌と病に侵されながらも、認知デイ利用と訪問診療等、関係機関との連携により状態改善、本人の有する力を引き出すことに成功したケースについて報告を行い、感想や意見を伺った。		
	5. 質疑および評価		
	認知デイの利用減少は同じ現状にあり、どこから通所でどこから認知か線引きが難しい。		
	介護者も分からなくなるほどの認知症家族の介護体験を通して、看護師が関わる事は家族にとっても安心。家族はどんな事でも良いからケアマネに打ち明けてほしい。		
	まずは家族に対しても理解を求めていく事が大切。		
6. その他			
●●●●氏より、あんしんセンター神田、地域医療連携認知症疾患医療センター等の告知を頂いた。			
サービスにつながらない場合は、あんしんセンターへ、			
サービスにつながりそうな場合は当方へご相談下さい。			
法人の理念としても、「家族を支援する」と掲げております。			
本日の貴重なご意見を今後の事業運営に役立てていきたいと思っております(高橋センター長)。			
以上			

平成29年度 第1回認知症対応型通所介護事業者評価アンケート 集計結果

- 設問1: 認知症対応型通所介護のサービスを理解していただくための工夫がされている。
 設問2: サービスに関して情報提供は十分に行われている。
 設問3: サービスの質を向上するために利用者等の希望を取り入れたサービス提供がされている。
 設問4: サービスの質を向上するために利用者の心身の状況の変化に応じた、生活を支える支援である。
 設問5: コンプライアンスを遵守し、かつ利用者の安全に配慮した運営である。
 設問6: サービス提供に関する課題についての事業所内で情報共有は十分行われている。
 設問7: 地域住民との交流や地域活動への参加を図っている。



- 設問8: ご意見、ご要望等ございましたらご記入ください。
- ・慣れるまで短時間利用もあれば……と思います。
 - ・このような会は初めて参加し、皆様の努力が分かり良かったです。大勢の方々が関わっていただいていることがよく分かりました。
 - ・一般と認知デイの差別化、認知デイ数ヶ所の所での差別化が図れると良いですね。パンフレットやホームページなどに反映できると良いと思います。よく見ているという話だったので、文書で報告できるような仕組みができれば、ご家族もケアマネも嬉しいです。